

令和5年12月号

うつみ進学塾

東雲(しののめ)

vol.57(298)

11月は、お休みをいただいて防衛大学校に進学した子どもに昨年誘ってもらっていた開港祭(学園祭)に参加してきました。凛々しい制服姿に感動して、周りの同級生たち(外国人の学生もいました)が彼をほめる様子に胸が熱くなる想いがしました。これから日本は外交上でも様々な課題を抱え、多くの国難に立ち向かっていかなければならないでしょう。そのとき、矢面に立つであろう、覚悟を持った彼らの熱い心意気に触れ、「これなら大丈夫」と安心感も持ちました。

今年は「まだ暑い」と、言われ続けて11月に入りましたが、半ばを過ぎたくらいから急激に寒くなってきました。近辺の紅葉も、「今年は遅いのかなー」なんて考えていたら、北の方では雪の便りが伝わってきて・・・「結局、秋はあっという間に終わった」ということなのね・・・と、自らを納得させる始末。まだ昼間が暖かいのは救いですが、このまま寒い冬に突入するのは、何かを忘れた気がして物悲しく感じます。

しかし、もう12月。2023年の締めくくりの月です。12月を師走(しわす)と言い、諸説ありますが、「昔は年末に僧侶がお経をあげるため、家々を忙しく走り回った」という語源がよく知られています。我々現代人も、年末になると何かとあわただしくなりますよ。どうして12月はそんなに忙しくなるのでしょうか。「やるべきこと」があっても「後でやろう」「明日でいいや」などと先送りにしていたら・・・ふと気がついたら年末を迎えてしまったということなのでしょうか。

それなら例えば12月末に後悔しないために「やることリスト」を作ってみては？ 勉強の予定はもちろん、友だちとの色々な予定や家族との約束など、とにかくやることをすべて書き出してみてください。そして、終わったことからひとつずつ消していきましょう。予定通りに終わって、その予定を消すときは達成感で嬉しくなることでしょう。ぜひ一度、試してみてください。私の場合は、消さずに自分がこなしした予定を見て「よし！もうひと頑張り！」とモチベーションにしています。



そして、今年、やり残したことのある人は一気に片づけてしまいましょう。私のやりたかった事？やり残した事・・・あると言えばあるような感じもしますが、まあそれはココでは直接関係ないということで、ココに置いておくとして・・・



高3生と中3生は、これから本番を迎えるわけで、年末・年始の冬休みを有効に使ってください。中3生にとっては初めての受験を迎えるわけで、どんな風に冬休みを過ごせばいいのだろう？なんて、考えているかもしれませんが、とりあえず机に向かう習慣だけは忘れないように！メリハリを付けた生活だけは怠らないように！と、ということで冬期講習の案内です。

もちろん、冬休みは夏休みほど長いお休みではありませんが、受験の前にきちんとした復習、受験勉強ができる最後のチャンスです。この冬休みの頑張りで目標としている志望校に手が届くかどうかが決定的と言っても過言ではありません。およそ2週間の冬休み、その間に出来ることはたくさんあります。年末・年始と楽しい行事もありますが、今年はきちんとメリハリを付けて過ごしましょう。

また、冬期講習は受験生のものだけではなく、今年は中3生に限らず中1生や中2生も2学期に入って急に授業の進度が早くなったように感じましたよね。その消化不良になっているなと、感じる部分の取り組みでも良いですし、夏休みとそんなに変わらない宿題をこなすためでも構いません。受験生以外の参加も待っています。

もちろん、冬期講習は塾生以外の参加もOKです。気になるお友達がいましたら是非声を掛けてあげてくださいね。

なお、冬期講習の予定表にある日程は先月のものとは多少変更されていますので参加される際はご注意ください。よろしくお願いします。

2023年のお手紙も、この12月分をもっておしまいです。今年も一年間、色々ありがとうございました。これまでの日常が戻った一年は、これまで以上に足早に過ぎた一年だったように感じました。今年やり残したなと、思うことがあれば、お互い今のうちに片づけてしまいましょう。そしたら、きっと来年が良い年になることでしょう。また、来年もよろしくお願いいたします。

